

授業科目 臨床血液学実習 II

【担当教員名】 大山 富三	対象学年	3	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○		○	○
【概要・一般目標：G10】 血液検査の測定原理やその臨床的意義を理解し、得られた結果から血液疾患を類推できる技術を習得する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 安全かつ正しく採血を行うことができる。 2. 手法から基本技術をマスターする。 3. 結果を正しく判定できる。 4. 各種検査の理論及び臨床的意義を説明できる。 5. 検査の基準値を列挙できる。 6. 検査結果から疾患を類推できる。 7. 採血の実習を通して患者様の痛みが理解できる。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-4	全血凝固時間測定		1-7	講義・実習
5-6	カルシウム再加時間測定		1-7	講義・実習
7-8	APTT 測定		1-7	講義・実習
9-10	PT 測定		1-7	講義・実習
11-12	トロンボテスト測定		1-7	講義・実習
13-14	フィブリノゲン測定		1-7	講義・実習
15-16	FDP 測定		1-7	講義・実習
17-20	出血時間および毛細血管抵抗試験測定		1-7	講義・実習
21-22	血小板数算定		1-7	講義・実習
23	血小板凝集能測定		1-7	講義・実習
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床検査学講座 血液検査学第3版	奈良 信雄 他	医歯薬出版	2010・5,400円＋税
参考書				
その他の資料	配布資料			
【評価方法】 レポート(40%)、定期試験(60%)。 なお、欠席の場合にはレポート提出を認めない。		【履修上の留意点】 上記「授業計画」の項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。 臨床技術者にとって重要な臨床科目であるため、知識は勿論のこと技能についても習熟すること。		